

# 5-9

通所介護

人材育成

## デイサービス支援効果新任職員向け研修の取り組み

支援効果を意識した業務にむけて

センター部会 デイサービス支援効果研究委員会

発表者：倉重 光一郎

共同研究者：デイサービス支援効果研究委員会 委員

所在地：新宿区神楽坂 1-1 セントラルプラザ

TEL：03-3268-7172

E-mail：kourei@tcs.w.tvac.or.jp

FAX：03-3262-0635

今回の発表の施設  
またはサービスの  
概要

デイサービス支援効果研究委員会は、東社協センター部会の専門委員会として、デイサービスの支援効果の調査研究をもとに、テキストの作成及び研修を企画しています。

### ＜取り組んだ課題＞

平成 19 年 12 月に発表した調査研究報告書「高齢者  
デイサービスにおける支援効果と支援技術」を、現場で  
活用できるようテキストを作成し、またそれを活用した  
研修を企画する。

### ＜具体的な取り組み＞

- デイサービス支援効果研究委員会の中で、新任職員  
テキスト作成作業委員会を立ちあげた。
- 報告書の読み込み、現場での課題整理(新人が抱え  
ている問題)に関する委員会を開催。
- 工夫した点
  - ・現場の職員が、読みやすく理解できるよう図や、  
具体的な事例をいれる。
  - ・既刊の調査研究報告書のダイジェスト版の目的  
もあったが、新任職員に対しては、支援効果の説明の  
前段として、基本的なデイサービスに関する知識や基本  
となる考え方も必要であると考え、編集を工夫した。
  - ・実際に現場で抱えている問題点を委員の施設や  
インターネットのソーシャルネットワークなどでも情報  
収集し、編集に役立てた。
  - ・コラムなども入れ、読みやすくする。
  - ・研修の中では、個人ワークやグループワークを  
いれ、自らが考えられる研修とし、また他施設の  
職員とも交流できる時間を設けた。

### ＜活動の成果と評価＞

今回作成したテキストをもとに平成 21 年 5 月、6 月、  
7 月に入職 1 年程度の職員を対象に、デイサービス新任  
職員研修を開催した(半日研修)。参加者は、各回 40 名  
程度で、120 名余の参加を得た。

事前に新任職員が抱えている悩みを集めた中に、「レク  
リエーションをどう盛り上げたらいいのかわからない」  
などの意見が多かった為、研修プログラムでは、アクテ  
ィビティ事例をもとにグループワークを行った。支援効  
果の視点から事例を検討し直すことで、終了後のアンケ  
ートの感想には、「日々業務に追われているが、改めてデ  
イサービスの目的等確認できてよかった」「モチベーショ  
ンアップにつながった」「支援効果を意識する必要性を感  
じた」といった声が挙がっている。

### ＜今後の課題＞

- ・アンケートにおいて「講義内容が盛りだくさんで、時  
間が足りなかった」という意見が多かった。今後は、  
一日単位の研修や、よりわかりやすく考えられる研修  
の企画の検討が必要である。
- ・今後正式なテキスト発刊に向けての準備、それぞれの  
施設内での研修企画についても取り組んでいく必要が  
ある。
- ・現在研究委員会では、中堅職員向けのテキストについ  
ても準備を進めている。

### 【メモ欄】